



定住対策

きるものから進めていきます。

問 那須町には若者が住めるような町営住宅がない。若者が格安で定住できるような建物を建てるなど、若者が町に定住できる施策を盛り込んだ振興計画を策定してほしい。

問 文化協会郷土芸能部会の一番の問題は、後継者不足である。地域に若者が残り、町外からUターンしてきてもらえるような政策を行ってほしい。

町長 これまでもあたごハイツの取得による住宅確保や、町で分譲しているグリーンハイツ田中の値下げなど定住対策を行っていますが、即効性がありませんでした。推計では、今後の町の人口減少は著しく、これは町の存続に関わる問題であることから、総合的にもう一度見直し、少子化対策、若者定住対策を重点施策に位置づけたいと考えています。

空き家対策

問 湯本に空き家、廃屋が多い。崩れかかっているような建物をどうにかできないか。(高久地区でも同様の意見あり)

町長 湯本には廃屋が増えてきました。その中には何年も廃屋になっ

ていて、観光地としてふさわしくない景観があります。基本的には個人の建物については、持ち主に撤去していただくことが原則ですが、危険性がある、通学路に支障がある、著しく景観を損ねるなどの条件があり、持ち主に指導しても改善が認められない場合は、行政側で撤去するという時代になってきました。町でも空き家条例等を検討し、対応していきたいと思っています。

婚活事業

問 婚活を一生懸命やって、若い人に住んでももらいたい。子どもがいなければ教育もできない。結婚して子供が増えれば、教育、やがては生涯学習につながると思う。町として、これからのように考えていくのか。

町長 町が主体となって婚活事業を行っています。町内には民間でやっている婚活事業も数多くありますので、大いに利用していただきたいと思っています。

副町長 公民館の中で、男性だけを集めて自信を持たせるような教室や学級等を開催しています。男性が積極的になるように側面から支援しています。町も婚活には力を入れています。町も婚活と積極的に取り組んでいきます。

那須高原友愛の森再整備

問 町は友愛の森の隣接地を取得したが、いつ頃からどんな計画で事業を進めていくのか。

町長 友愛の森の出入口が出入りにくく駐車場も少ないことから、隣接地を取得しました。友愛の森再整備の進捗状況については、基本構想に関するパブリックコメントでいただいた町民の皆さまからの意見を取りまとめて、施設のゾーニングや配置等を定めた基本計画を本年度中に策定し、その後施設整備を進めていきます。平成29年度末には整備したいと考えています。

防災対策

問 町全体に防災無線の取り組みがあるか。

町長 新たな防災無線を導入しようということで、平成28年度の運用開始に向けて実施設計を予算化しています。防災システムにはいろいろありますが、一長一短あり予算も莫大にかかります。町では防災行政無線でお知らせし、詳細は携帯電話のメール機能を併用するシステムが効果的ではないかと考えています。

まちづくり

問 何かまちづくりに参加することはできるか。

町長 町にはボランティアセンターがあり、そこに登録していただき、ニーズのある方に紹介して協力していただいています。ボランティアセンターの機能を強化し、温かい志を持った方々が、那須町のために活躍できるような制度を充実させていきたいと思っています。

ご紹介したのは一部ですが、町民の皆さまからのたくさんのお貴重なお意見・ご提案を今後のまちづくりに生かしていきます。ご協力ありがとうございます。

▼問合せ 総務課広報広聴係

☎ 76901